

姥屋敷地域幸せづくり活動プラン  
～みんなの笑顔の真ん中で  
子どもたちが笑う地域～

私たちの地域（地域の概要）

私たちの地域は、岩手山の麓に位置し、戦後に開拓入植され、酪農、高冷地野菜などが生産される農業が中心の地域です。

雄大な自然を背景に、鞍掛山、相の沢牧野、お山の湯などの地域資源もあり、来訪者も多い地域となっています。

人口の少ない地域ですが、子どもから高齢者まで「絆」を大切にしたい地域づくりを進めています。



目指す！  
地域の姿

健康をつくる白い牛乳、緑の野菜、

住むならばお山のふところ 姥屋敷

☆姥屋敷地域づくり懇談会  
(姥屋敷自治会)

【計画期間：平成27年度～平成34年度】

## 1 地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



岩手山



春子谷地湿原



相の沢牧野



狼穴



お祭り広場



お山の湯

## 2 地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみんなで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

### ■ 姥屋敷地域の情報

	姥屋敷地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	347	0.6%	55,170		H26.10 末	
2 世帯数	109	0.5%	21,931		H26.3 末	
高齢者世帯	22	20.2%	3,947	18.0%	(全市から自衛隊等を除く)	
うち高齢者1人世帯	8	7.3%	2,135	9.7%		
3 産業別人口	200	0.8%	26,478		H22 国勢調査	
1次産業	117	58.5%	1,374	5.2%		
2次産業	13	6.5%	5,683	21.5%		
3次産業	70	35.0%	19,421	73.3%		
4 年代別人口	347	0.6%	54,207		H26.10 末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0~5	19	5.5%	2,561		4.7%
学び・成長世代	6~17	30	8.6%	6,735		12.4%
自立世代	18~34	48	13.8%	10,086		18.6%
子育て世代	35~49	54	15.6%	11,419		21.1%
充実世代	50~64	79	22.8%	11,491		21.2%
円熟世代	65~	117	33.7%	11,915		22.0%

### ■ 姥屋敷地域公共施設情報（※印のあるところは指定避難所です。）

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
※姥屋敷小中学校	鶴飼安達 117-19	680-2401	花平酪農業 協同組合	鶴飼安達 138-13	680-2211
姥屋敷保育所	鶴飼安達 140	680-2622	相の沢牧野看視舎	鶴飼姥屋敷 108	680-2411
お山の湯	鶴飼安達 114-3	680-2588	たきざわ自然 情報センター	鶴飼安達 114-7	691-6555

### 3 私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

#### 地域整備の課題（地域と行政が連携し取り組む課題）

- ▶ 1. 市街地とのアクセス向上のため市道洞畑鬼越線の拡幅が必要です。
- ▶ 2. 地域づくりの中心として姥屋敷小中学校の存続が必要です。
- ▶ 3. 優れた自然景観を活用した観光振興方策が必要です。
- ▶ 4. 高齢化社会に対応した公共交通網の整備が望まれます。
- ▶ 5. 地域内に就労の場の創出が求められます。

#### 地域活動の課題（地域で取り組む課題）

- ▶ 1. 姥屋敷小中学校を中心としたコミュニティづくりが大切です。
- ▶ 2. 地域内で安心して子育てできる環境を目指します。
- ▶ 3. 優れた自然景観を保全するため不法投棄防止対策が必要です。
- ▶ 4. 地域産品を広域での観光振興に取り組みます。
- ▶ 5. 姥屋敷の歴史と文化を地域の宝物として継承していく取り組みが必要です。

## 4 幸せづくり計画

### ① 地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

#### 基本方針 1

農業専業地域の特性を活かしながら地域の魅力を高め、  
若年層の定住を図ろう

- ▶ 1. 地域の農産加工品の地産地消に取り組みます。
- ▶ 2. 酪農業体験イベントを企画し地域ピーアールに取り組みます。
- ▶ 3. 地域内の協働で安心して子育てができる環境をつくります。
- ▶ 4. 地域で保育園、小中学校の運営に協力します。
- ▶ 5. 栄光賞で子供たちの健闘を称えます。

#### 基本方針 2

岩手山麓の雄大な自然、優れた農業景観を活かし、  
観光客が気軽にゆったり過ごせる地域にしよう

- ▶ 1. 貴重な植生群落の保全に取り組みます。
- ▶ 2. 手作り看板など牧歌的な雰囲気づくりを大切にします。
- ▶ 3. 地域産品を活かした交流人口の増加を図ります。
- ▶ 4. 継続して水仙ロードに取り組みます。
- ▶ 5. 地域の集いの場として「まつり広場」の整備を進めます。



基本方針3

通学、防災、観光面の交通アクセスと安全性が確保された地域を目指そう

- ▶ 1. 市道洞畑鬼越線の管理と拡幅事業に取り組みます。
- ▶ 2. スクールガードをはじめ地域で交通安全に取り組みます。
- ▶ 3. 交通安全の危険区域を地域で共有し交通安全意識の向上を図ります。
- ▶ 4. 地域で高齢化社会に対応した交通手段を考えます。
- ▶ 5. 自主防災組織を中心に地域の安全安心に取り組みます。

基本方針4

地域の景観や生活環境を、次世代へ健全な状態で伝えていこう

- ▶ 1. 景観に配慮した地域を目指し景観形成住民協定を検討します。
- ▶ 2. 地域として不法投棄を絶対に許さないという意思を示します。
- ▶ 3. ゴミだしルールの周知徹底を図り、互に声を掛け適正なゴミ集積所の管理を心がけます。
- ▶ 4. 地域の歴史を後世に伝える活動に取り組みます。

## 4 幸せづくり計画

### ②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

#### ☆すこやか世代（0～5歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素  
（子どもに）良い食習慣が身に付いていること
- ②象徴指標  
家族一緒に食事をする回数（1週間）
- ③活動モデル  
家族一緒に笑顔で食事をする
- ④どのように具体的に取り組むか  
今日のこと、明日のことなどを会話しながら食事をする
- ⑤活動団体・組織  
各家庭 ほか

#### ☆学び・成長世代（6～17歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素  
地域の皆さんに（子どもが）見守られていること
- ②象徴指標  
子どもが安全に通学できると感じる人の割合
- ③活動モデル  
地域の方々が資源回収などの子どもたちの活動に協力する
- ④どのように具体的に取り組むか  
学校・地域が一体となった行事（運動会、夏祭り、文化祭、卒業生をおくる会、資源回収）等に参加する
- ⑤活動団体・組織  
小中学校、PTA、老人クラブ、青年会、自治会 ほか

#### ☆自立世代（18～34歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素  
地域の皆さんと交流の機会があること
- ②象徴指標  
地域のお祭りや行事に参加した回数
- ③活動モデル  
地域のお祭りやサークルなどに参加する
- ④どのように具体的に取り組むか  
地区全体の行事（運動会、夏祭り、草刈清掃活動）に参加する
- ⑤活動団体・組織  
各地区公民館、自治会 ほか

☆子育て世代（35～49歳）

- ① 幸福感を育む象徴的要素  
子どもたちの成長を確認できること
- ② 象徴指標  
子どもとの会話の時間（1週間）
- ③ 活動モデル  
小中学校の行事に積極的に参加する
- ④ どのように具体的に取り組むか  
運動会、文化祭、卒業生を送る会等の学校行事に参加する。
- ⑤ 活動団体・組織  
PTA、子ども会育成会、地区スポーツ少年団、自治会 ほか

☆充実世代（50～64歳）

- ① 幸福感を育む象徴的要素  
世代を越えて交流する機会があること
- ② 象徴指標  
ここ1年で地域活動に参加した人の割合
- ③ 活動モデル  
自治会活動など地域活動に参加する
- ④ どのように具体的に取り組むか  
地区の運動会、夏祭りに家族みんなで参加する。
- ⑤ 活動団体・組織  
自治会 ほか

☆円熟世代（65歳～）

- ① 幸福感を育む象徴的要素  
いざという時にも、助け合える繋がりがあること
- ② 象徴指標  
いざという時に、頼れる相手がいる人の割合
- ③ 活動モデル  
地域の自主防災組織が行う防災訓練に参加する
- ④ どのように具体的に取り組むか  
防災訓練に参加する。要援護者の把握に努める。
- ⑤ 活動団体・組織  
自主防災組織、消防団、自治会 ほか



## 地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	幸福感を育む 象徴的要素	象徴指標	活動モデル	どのように具体的 に取り組むか	活動団体 ・組織
すこやか世代 (0～5歳)	(子どもに) 良い 食習慣が身に付 いていること	家族一緒に食事 をする回数(1週 間)	家族一緒に笑顔 で食事をする	今日のこと、明日 のことなどを会 話しながら食事 をする。	各家庭 ほか
学び 成長世代 (6～17歳)	地域の皆さんに (子どもが) 見守 られていること	子どもが安全に 通学できると感 じる人の割合	地域の方々が資 源回収などの子 どもたちの活動 に協力する	学校・地域が一体 となった行事(運 動会、夏祭り、文 化祭、卒業生をお くる会、資源回 収)等に参加す る。	小中学校、 PTA、老人ク ラブ、青年 会、自治会 ほか
自立世代 (18～ 34歳)	地域の皆さんと 交流の機会があ ること	地域のお祭りや 行事に参加した 回数	地域のお祭りや サークルなどに 参加する	地区全体の行事 (運動会、夏祭 り、草刈清掃活 動)に参加する。	各地区公民 館、自治会ほ か
子育て世代 (35～ 49歳)	子どもたちの成 長を確認できる こと	子どもとの会話 の時間(1週間)	小中学校の行事 に積極的に参加 する	運動会、文化祭、 卒業生を送る会 等の学校行事に 参加する。	PTA、子ども 会育成会、地 区スポーツ 少年団、自治 会 ほか
充実世代 (50～ 64歳)	世代を越えて交 流する機会があ ること	ここ1年で地域活 動に参加した人 の割合	自治会活動など 地域活動に参加 する	地区の運動会、夏 祭りに家族みん なで参加する。	自治会 ほか
円熟世代 (65歳～)	いざという時に も、助け合える繋 がりがあること	いざという時に、 頼れる相手がい る人の割合	地域の自主防災 組織が行う防災 訓練に参加する	防災訓練に参加 する。要援護者の 把握に努める。	自主防災組 織、消防団、 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ  
(活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

年月日	主要な活動の記録
2002年〔H14年〕	・姥屋敷いきいき21推進委員会を設置
2003年〔H15年〕	・姥屋敷マイロード事業(滝沢浄水場から姥屋敷に抜ける道路、延長約1.5キロの拡幅工事、砕石舗装、側溝設置を～H18で延べ465人が参加し行われた。測量、立木の伐採、地権者交渉も委員会で実施)
2004年〔H16年〕	・姥屋敷を山ぶどうの里にするぞ事業(地域内で山ぶどう栽培)
2006年〔H18年〕	・姥屋敷を山ぶどうの里にするぞ事業・収穫編(栽培した山ぶどうをジュースにするための機器導入)
2007年〔H19年〕	・姥屋敷を山ぶどうの里にするぞ事業・加工編(特産品化へ向けスチーマーと王冠打栓機導入)
2008年〔H20年〕	・防火用水整備事業(自主防災体制強化のため防火用水を整備)
2011年〔H23年〕	・(財)自治総合センターが宝くじ普及広報事業として行っている「コミュニティ助成事業(一般コミュニティ助成事業)」を導入しまつり広場に野外ステージテントを整備
2013年〔H25年〕	・お祭り広場整備事業(まつり広場に休憩所を整備)
2014年〔H26年〕	・お祭り広場整備事業(まつり広場舞台を整備し、小中学生と姥屋敷の一本桜を描く)

## 姥屋敷地域づくり懇談会

姥屋敷自治会役員、姥屋敷いきいき21まちづくり推進委員会、消防団第10分団、姥屋敷小中学校PTA、老人クラブ、子ども会育成会、地域内事業者、地域住民  
(順不同)